

秋の深まりを感じながら・・・

副校長 山之井 浩

秋もいよいよ深まり、朝晩には涼しさが感じられる日々となってまいりました。

「スポーツの秋」「音楽の秋」「読書の秋」「食欲の秋」など、秋はいろいろなことをするのにふさわしい季節です。本校でも、1・2年生は10月の「野毛山遠足」、3年生は11月の「区音楽会」、4年生は11月の「上郷宿泊体験学習」、5年生は10月の「高尾宿泊体験学習」や11月の「区球技大会」、6年生は10月の「市体育大会」や11月の「心の劇場見学」、個別支援学級は10月の「野島宿泊体験学習」と様々な対外的な行事が実施されたり、予定されたりしています。また、11月末には、新たに「全校たてわり遠足」も行われます。

日頃の授業とは一味違うこれらの体験が、今後の学習や、学校生活の様々な場に結び付いていくことと考えています。

さて、「芸術の秋」にちなんで有名人を調べて見ると、「文化の日」である11月3日が誕生日の人物として、手塚治虫さんの名が挙げられています。誰もが知っている著名な漫画家で、私も子どもの頃に「鉄腕アトム」や「ジャングル大帝」などを、テレビで夢中になって見た記憶があります。それ以外にも「火の鳥」「ブラックジャック」など、数々の名作を残していますが、手塚さんは、医師の免許ももっているのです。

そんな手塚さんの名言の一つとして、次の言葉があります。

「大きくなってからは、少なくとも二つの希望をもち、二つのことを続けることです。いろいろな条件で一つが挫折することになっても、もう一つは残ります。子どもから大人になるとき、社会に出るときなど、人生の選択をするときに必ずあります。そのときに選べるものがあることは、本当に幸せなのです。一つしか進むべき道がないというのもいいのですが、道が広いほうが、より自分に向いた道を見つけやすいとぼくは思います。」

実に、奥の深い言葉ですが、まずは一つでもよいので、自分の得意なことを創り出していければと思います。そのためには、身の回りのことに興味をもち、実際に着手し、長く継続していくことが肝心です。それを繰り返すことにより、きっと二つ目の道も生み出していくことができるでしょう。

学校で、家庭で、そして地域で、子どもたちが初めの一步を踏み出せるように支援していければと考えております。

50周年実行委員会が開催されました

10月1日（火）に、50周年実行委員会が行われました。「式典・祝賀会」「記念品・記念誌」「児童」の3部会に分かれ、大まかな流れについて相談をしました。今回の話合いで、航空写真を撮ることが決まりました。